

## 上海の運輸事情

### 上海市概況

#### 1. 地理・人口

位置：北緯 31 度（鹿児島市と同じ）、東経 121 度（日本との時差 - 1 時間）

面積：上海市総面積 6,341 平方 km（ほぼ、東京都と埼玉県を合わせた面積。なお、崇明島（840 平方 km）は中国第 3 位の島（1 位台湾島、2 位海南島））

市街地面積 281 平方 km（東京 23 区の約 1/2）

人口（99 年末）：全市の戸籍人口 1,311 万人（この他に流動人口：約 300 万人）

人口密度：約 2.06 千人/平方 km

（参考：東京 23 区人口密度 14 千人/平方 km、大阪市 12 千人/平方 km）

#### 2. 小史

13 世紀末（南宋）：「上海県」設置、以後、港・中国人街が形成される。

1842 年：南京条約により上海港開港、1845 年英が、引き続き仏、米、日が上海に租界形成

1921 年：中国共産党が上海にて成立、第一回党大会開催

1949 年 5 月：中国共産党支配下（陳毅 初代市長）

#### 3. 上海市政治行政組織（平成 12 年 6 月 1 日現在）

中国共産党上海市委員会 書記：黄菊（中央政治局委員）

副書記：徐匡迪（市長、中央委員）、

陳良宇（常務副市長、中央候補委員）、

孟建柱（市党委党学校校長、中央候補委員）、

キョウ学平、

劉雲耕（市公安局長）

上海市人民政府 市長：徐匡迪

副市長：陳良宇、蔣以任、韓正、左カンシン、憑国勤、周ウ鵬、周慕ギョウ

上海市人民代表大会 主任：陳鉄迪（中共上海市党委委員、全人代上海市代表）

上海市政治協商会議 主席：王力平（全国政協上海市代表）

#### 4. 主要経済指標

	97年	98年	99年
人口(万人)	1,307	1,308	1,311
GDP成長率(%)	12.7	10.1	10.2
1人当りGDP(元)	25,700	28,200	30,800(約40万円)
固定資産投資額伸率(%)	2.6	-0.5	-5.7
消費者物価上昇率(%)	2.8	0.0	1.5
労働者平均月給(元)	952	993	1,157
外国貿易 輸出(億\$)	147.2	163.3	187.9
前年比(%)	11.2	10.9	15.0
輸入(億\$)	100.4	97.2	198.2
前年比(%)	11.2	-3.2	103.9
貿易収支(億\$)	46.8	66.1	-10.3

#### 中国全国に占める地位(%)

面積	人口	GDP	社会消費品販売額	固定資産投資	貿易額
0.7	1.0	4.9	5.1	6.2	10.6

#### 産業別GDP比

第一次産業	第二次産業	第三次産業	=	2.0	:	48.4	:	49.6
(同)	中国		=	17.3	:	49.7	:	32.9

#### 5. 浦東新区

上海を21世紀初頭までに国際的な金融・貿易・経済センターとし、長江沿岸部の経済発展を牽引していくため、90年4月から、国家プロジェクトとして外資導入により、浦西(現市街地)の東側、黄浦江と長江に挟まれた広大な未開発地域(新区の総面積518平方キロメートル)の開発を推進しているもの。他の省・市からの投資も優遇。92年春のトウ小平の「南巡講話」(改革・開放の一層の推進)以降、開発が加速。93年1月に浦東新区管理委員会が設立(趙啓正副市長が主任)。金融貿易開発区、保税区的他、家電、情報、自動車、バイオ関係等、開発区、工業区を設定、多数の工場が進出。これと並行し、道路、港湾等の基礎インフラ整備を重点的に推進中。南浦大橋、楊浦大橋が既に開通、新国際空港、浦東からの地下鉄、石炭火力発電所、鉄道等の大規模インフラ整備も計画、着工又は一部完成。

## 運輸関係

### 1. 高架道路、高速道路建設等

これまで上海市は都市建設の一貫として高速道路、自動車専用高架道路、地下鉄建設等の重大プロジェクトを推進してきた。

高速道路等については、既に通している滬寧高速道路（上海市～江蘇省南京市、全長296キロメートル）、滬青平自動車道（上海市内～同市青浦県～江蘇省平望鎮）、滬嘉高速道路（上海市内～同市嘉定区）の他、96年から建設が進められてきた上海（シン荘（外環線））と浙江省杭州（ボウ埠県）を結ぶ滬杭高速道路（4車線、制限速度120キロ、全長151キロメートル）が、98年12月末開通。これにより上海、杭州両都市間の移動時間が従来の3時間から1時間半に短縮、既に通している杭甬高速道路（杭州～同省寧波）と連結し上海から寧波までが3時間に短縮された。

自動車専用高架道路については、94年に市街地から発展めざましい浦東地区を一巡する内環状高架道路とこれを縦断する南北高架道路が開通、内環高架道路を東西に横断する延安高架道路のうち、虹橋国際空港から内環高架道路を結ぶ部分が96年、浦東地区から南北高架道路（市中心部）を結ぶ部分が98年に完成、99年9月全線開通。これら高架道路の開通により、交通渋滞がかなり解消されてきている（市内中心部から虹橋空港まで（約15キロメートル）1時間以上かかっていたのが、現在では、約15～20分で着けるようになった。）。また、内環高架道路の外側を取り巻く外環自動車道路の建設も進められており、全線の2分の1以上にあたる西側の部分（8車線、制限速度80キロ）が98年、更にその南端から東の浦東新国際空港までが99年9月開通。同部分の開通により、虹橋国際空港、浦東新国際空港及び各隣接都市に繋がる上記4本の高速道路等が全て連結することとなった。

他方、俄に裕福になった個人経営者等が乗用車通勤、また多くの人々が利用するようになったタクシーが増加する等道路面積に比し車が非常に多く（99年末の登録車両台数は、タクシー42,056台（98年41,183台）、バス（トロリーバスを含む）16,456台（98年15,378台））、現在は殆どの人々の住宅が自転車通勤可能範囲内にあるからまだしも、今後都市開発により郊外に移転する人々が増え、通勤形態が変化してくると現在の道路交通に頼るのみでは必ず間に合わなくなってくることが懸念される（排気ガス等の公害問題も深刻。）。

### 2. 鉄道等

#### （1）鉄道

上海市及びこれを中心とする華東地区5省（江西、浙江、江蘇、安徽、福建）の鉄道は、上海鉄路局（中国鉄道部12局のうちの1つ）が管轄している。同地区の面積は60万平方キロメートル（全国の6%）であるが、人口は2億7千万人（全国の約5分の1）が住んでおり、98年のGDPは2兆4億元（全国の31%）に達し、経済も発展しており、蘇州、杭州等有名な観光地も多い。

同地域（5省1市）の全営業キロは6,680キロメートル（全国の11.5%）で、99年一年間の貨物輸送量は17,416万トン（全国の11.1%）、1,685億トンキロ

メートル（全国の13.4%）。

このうち特に利用率が高いのが上海～常州～南京間303キロメートルの区間であり、一日46往復（貨物列車は不定期につき含まず）、春節（旧正月）中は70往復前後に増便して運行する等により輸送密度は極めて高いが、国民経済のスピードに対応できない状況にある（上海駅における年間出発旅客数は2,536万人で全国第一位）。

これの解決策として新線の建設、在来線のスピードアップ等に取り組んでおり、特に在来線のスピードアップに関し、上海～南京間の公表速度は時速120キロであったが、一部列車については99年10月より最高180キロを達成、約2時間40分で到着可能となった。

上記の他、現在最も注目を集めているのが北京～上海高速鉄道建設プロジェクトである。本件は莫大な投資、技術移転が必要となる大規模なプロジェクトであり、我が国を含む世界数カ国が協力を検討中であるが、どの国のシステムを採用するかについては単なる技術の優劣ではなく政治レベルの交渉となりつつある。

#### （2）地下鉄等

上海市においては、市内の近距離交通手段としての地下鉄網等の整備を計画しており、長期計画によれば、最終的に地下鉄11路線、軽軌交通10路線からなる総延長400キロのネットワークを市内に整備したいとしており、これにより通勤者の40%が地下鉄、20%がバス、20%が乗用車等、残りがバイク、自転車を利用することになるものと見込んでいる。

既に開通済みの地下鉄1号線（上海駅～シン庄駅、全長約20キロ、計16駅）の他、地下鉄2号線（一期工事の長寧区中山公園～浦東地区龍陽路間16.3キロ、計12駅が99年完成、2000年6月正式開通、二期工事は中山公園～虹橋国際空港間の8キロで着工時期未定。）及び地下鉄と同システムによる軌道交通「明珠線」（一期工事の徐カイ区漕河ジン～虹口区江湾鎮間の25キロ、計19駅（うち22駅が高架）が地下鉄1号線の車両を使用し、2000年12月試験運行開始、二期工事の宝山区宝山～虹橋路の約22キロ、19駅は2001年着工予定。）を建設中。

#### （3）リニアモーターカー

上海市は2000年6月ドイツのリニア「トランスラピッド」導入を決定。大まかには浦東国際空港から地下鉄2号線の龍陽路駅（同じく浦東地区）までの39キロを大きなS字型に結ぶ複線の計画。同年6月、朱鎔基総理がドイツを訪問した際、これに同行した徐匡迪上海市長とドイツのトランスラピッド・インターナショナル社社長が事業化調査に関する協力協定書に署名。同年9月、上海において、国家科学技術部、上海市計画委員会、建設委員会、科学技術委員会、大学、研究所、関連企業等、両国70余の関係機関から200人近くが参加して「中～独リニア技術交流会」が開催されるとともに、科学技術部副部長をリーダーとする上海市建設委員会、上海市科学技術委員会、上海交通大学、同済大学、エンジニア等15名からなる「上海リニア実験線専門家作業グループ」が発足した。

報道等によれば、同計画は、2000年内にF/S最終報告、着工は2001年初め、2003年までに完成予定、建設費見込みは1キロ当たり約1.5億元、総事業費約60億元（＝約780億円）、開通後の片道乗車券は50元（約650円）前後、所要時間は7～8分、1日あたり、4万人の利用を予想。



### 3. 空港（浦東新国際空港）

上海市中心部の南東約30キロメートルに建設中の浦東新国際空港は、簡単、明瞭かつ21世紀をイメージしたフランス提案のコンセプトに基づき、段階的に建設を進めているところ、本年、第1期工事（全面積12万平方キロメートル）で、4,000メートル滑走路1本、20万平方メートルのターミナルビル1棟が完成、99年10月1日開港した。同期の設計処理能力は、年間旅客取扱量延べ2,000万人、貨物75万トン、最終的には、4本の滑走路及び4棟のターミナルビルで、年間旅客取扱量延べ7,000～8,000万人、貨物500万トンを目指す。

資金は、1期工事の段階で、上海市政府から約50億元（1元＝約15円）（現在の虹橋国際空港からの収益10億元を含む）、中国開発銀行から約35億元、円借款で約25億元（400億円）の総額約110億元を調達している。なお、2期工事以降は、同空港の収益等も期待している。

市内から空港へのアクセスに関しては、現在のところ、リムジンバス6路線で対応している。なお、うち1路線は両空港間約50キロメートルを結ぶもので、外環自動車道路の開通により約40分で移動可能。

同空港の特徴としては、ゴミ処理施設の充実による環境への配慮、中国で初の24時間監視レーダーによる保安対策、浦東地区北部の外高橋港区基地から空港内エプロンまでの一貫パイプラインを利用した燃料供給システムの採用等が挙げられる。

現在既に同空港及び虹橋国際空港の統括管理、運営に当たっている「上海空港集团有限公司」（98年5月設立された国有株式会社）によれば、以後も、天候、機械故障等への相互補完による臨機応変な対応を担保するため、現在の虹橋国際空港は国際空港として継続運用する由。

### 4. 港湾

上海港は、長江河口、黄浦江（長江の支流）水域及び杭州湾北岸水域で構成され、その海・河岸線波全長240キロメートル、港区総面積3,600平方キロメートル、計235バース（総23,906メートル）に及び、国際都市上海の海の玄関口として、150年以上の歴史を経た現在、世界の200余りの国家又は地域の500余りの港と交易を持っている。同港の主要な部分が長江河口域に流入する砂泥の堆積という致命的欠陥を抱えながらも、後背地に広範な経済圏を持ち、また、他地域に比しある程度物流インフラが整備されていることもあり、依然として貨物取扱量全国第一位（99年一年間の貨物取扱量は18,641万トン（輸入12,935万トン、輸出5,706万トン）で全国の約17.7パーセント（98年16,388万トンから13.7パーセント増））を誇っている。特に、但し、コンテナ取扱量は97年253万TEU、98年307万TEUから99年422万TEU（2000年は550万TEUに達する見込み）の大幅増となっている。

#### （1）上海国際航運センター構想

本構想は、現在、国家プロジェクトとして推進されている浦東地区を中核とする長江沿岸部の経済発展政策の一貫として同地区を国際航運の中心として育成することを目指すものであり、次の4点を主な柱としている。

(イ) 輸送価格の管理(協議・監視)(このために、96年11月、上海航運交易所を設立。在上海の我が国海運会社(日本郵船、大阪商船三井、川崎汽船)等殆どの国の会社は加入しているが、米国は海運自由の原則を理由に加入を拒否。)

(ロ) 長江河口水域における深水航路の確保(上流からの砂泥堆積により水深が浅く、大型船舶が長江を遡航出来ず、内陸への物流の隘路となっている。)

(ハ) 母船の直接寄港及び複合輸送の強化(国内水路、鉄道等との連結、近隣諸国からの積み替え港を目指す。)

(二) 隣接地区(江蘇省、浙江省)港湾との協調、分業(上海組合港構想)

(2) 上海組合港構想

本構想は、上海市を中心に江蘇省、浙江省を両翼とした経済圏の各港湾が総合的、有機的に連携、分業し港湾能力の向上を図る点にある。

このために、97年9月29日、上海組合港管理委員会(交通部副部長、前上海副市長、を江蘇省副省長、浙江省副省長等で構成)を設立。同委員会は上海市、江蘇省及び浙江省の各主要港湾(上海、寧波、舟山、南京、張家港、鎮江港、南通等)を管轄、(イ)外港用コンテナターミナル立地計画及び建設、(ロ)重複建設を避け総合的・協調的建設、無秩序競争を避け分業を図るための調整、(ハ)直接寄港及び複合輸送の推進、港を利用する外資企業からの意見聴取等を主な業務としている。

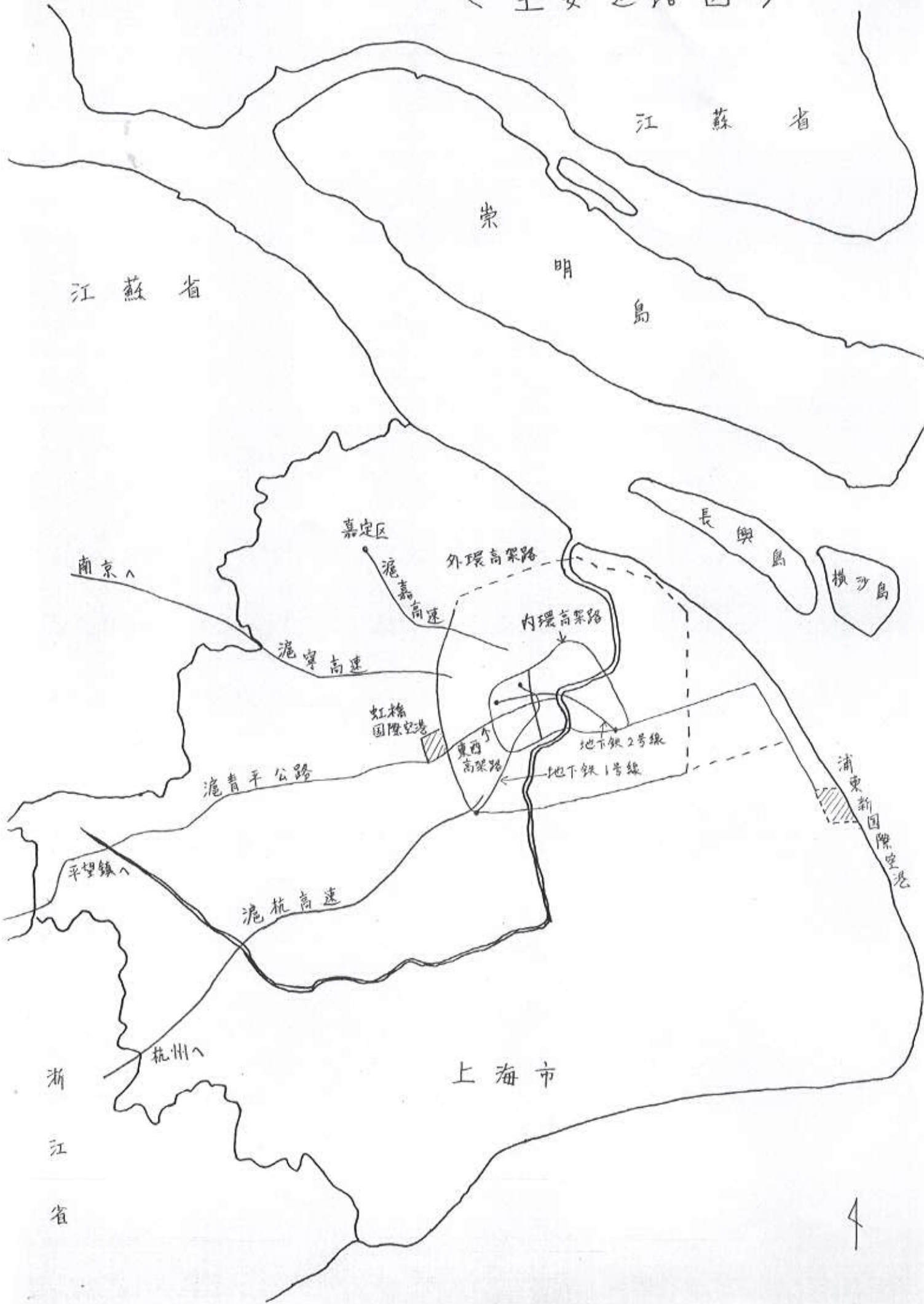
(3) 現状等

上海組合港構想推進にあたっては、各省市の縄張り意識が強く、縦割り行政の弊害が存在する状況下、同管理委員会の有効性につき疑問視されていたが、現在、各港湾の建設計画に関しては本委員会による厳格な認可制をとっており、本来の設立目的である無秩序競争、重複建設の回避という点で有効に機能している。

また、上海国際航運センター構想が提起されて以来、進められている長江河口の深水化(現在7.5メートルから2002年までに8.5メートル、最終目標12.5メートル(満潮時で15メートル))のための浚渫作業については、当地港湾関係者等の間では最終目標は実現困難との見方も出てきているところ、同河口から離れた砂泥堆積の影響を受けない場所に深水バースを確保することも検討されている。

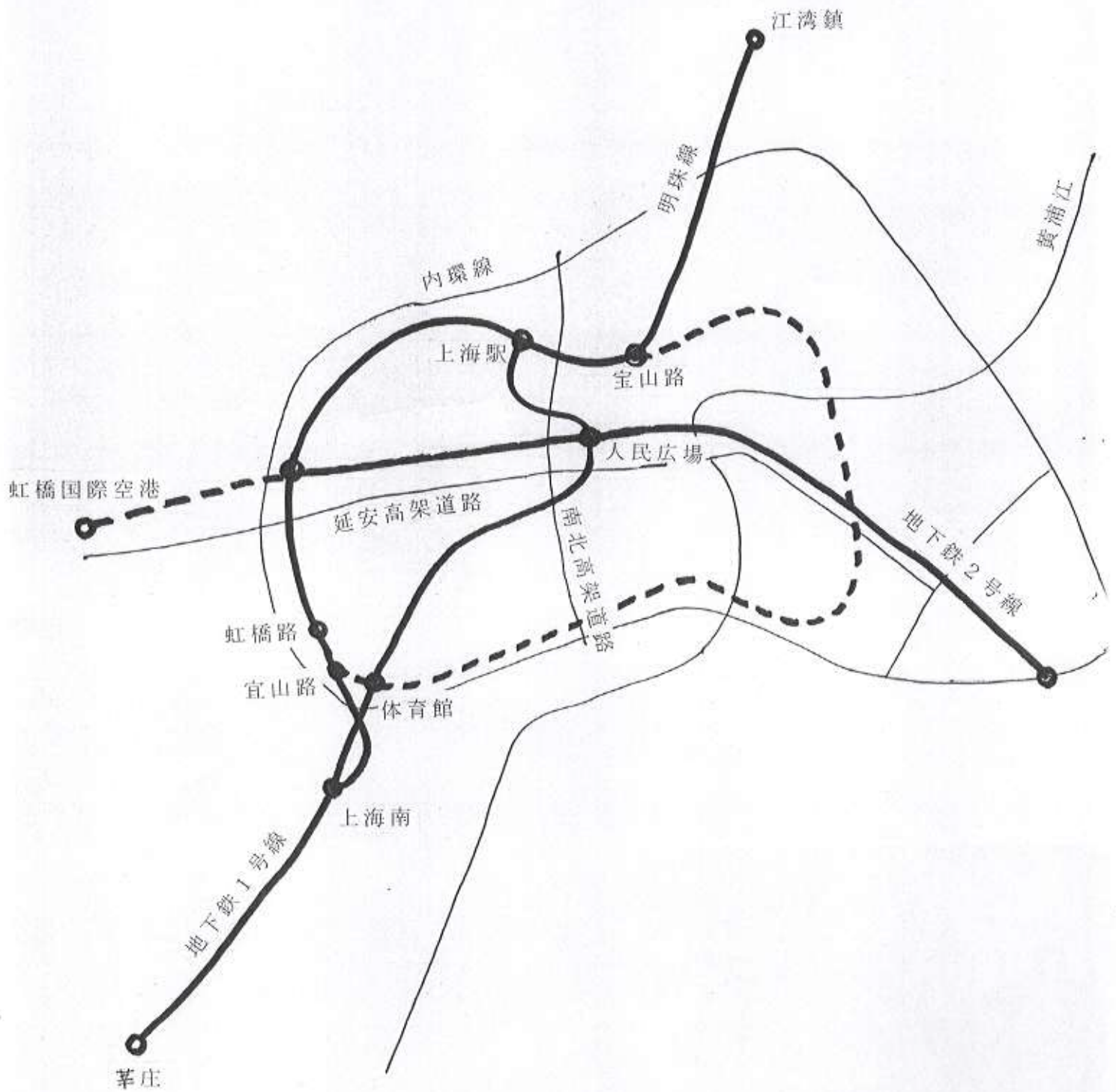


< 主要道路图 >

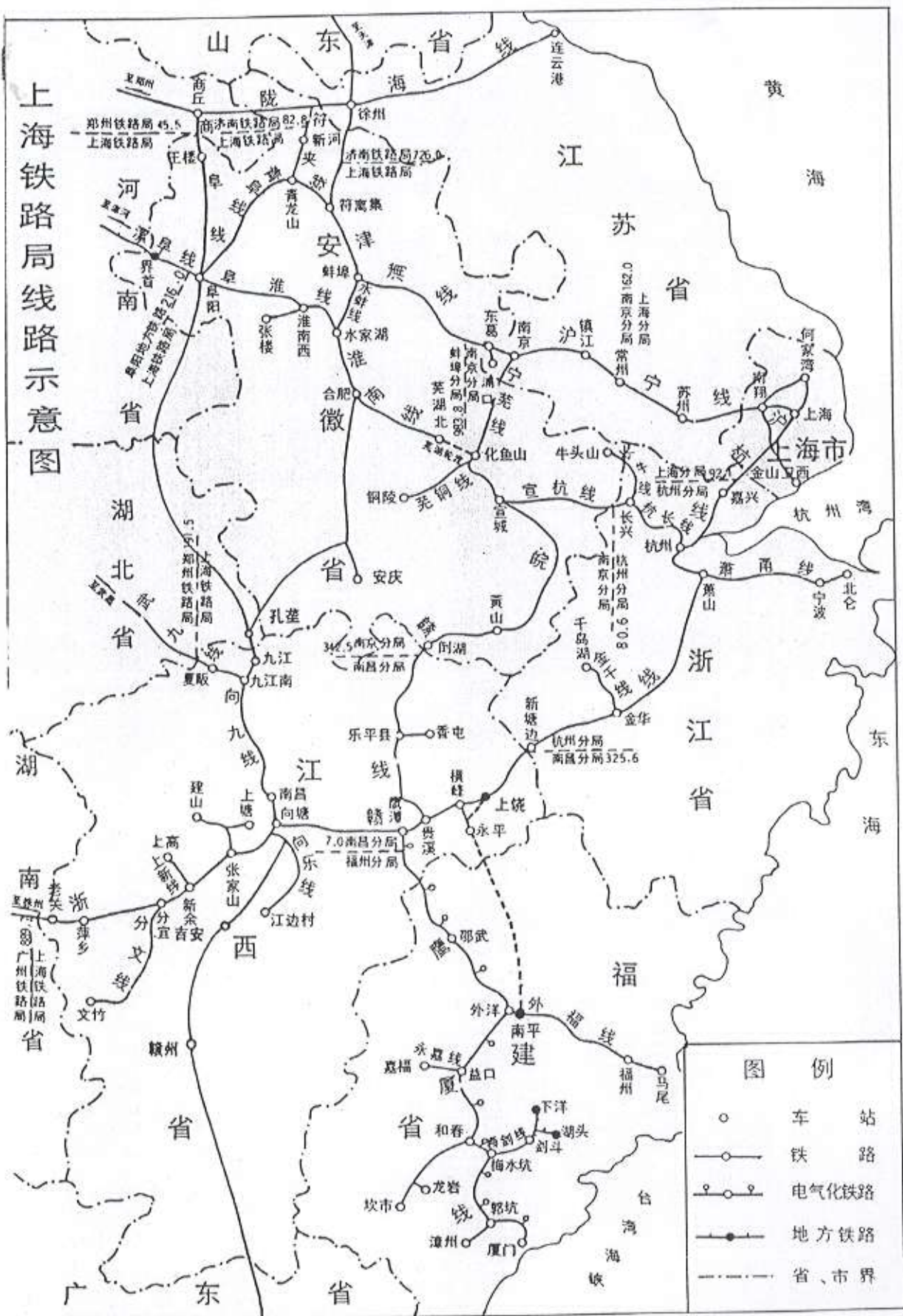




<上海市街地地下鉄等路線図>

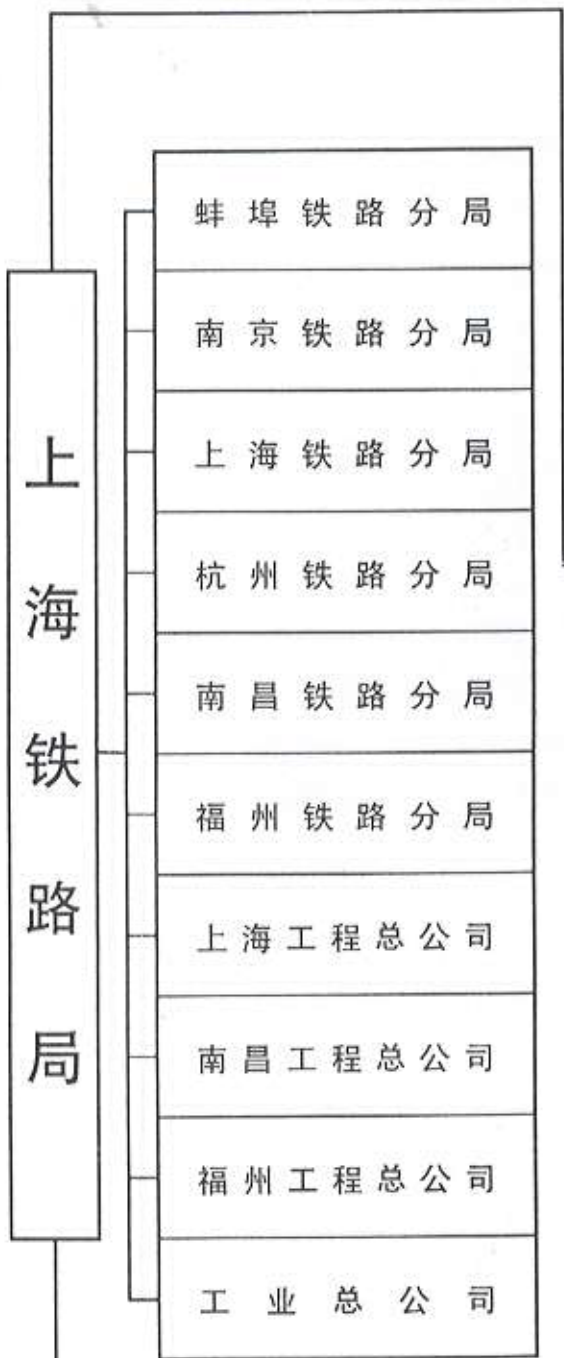


(注) 点線は計画又は建設中



上海铁路局パンフレットより





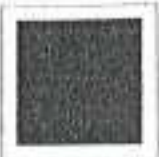
经济开发总公司

- 上海铁路国际旅行社
- 上海铁路美术广告公司
- 上海铁路局特快件运输公司
- 上海铁路局浦东经济开发公司
- 运输服务分公司
- 物资建筑材料分公司
- 商贸分公司
- 联富贸易商行
- 中铁对外服务公司上海分公司
- 中土公司上海分公司
- 上海雷威实业发展总公司
- 华东地方铁路开发总公司
- 铁路烟草批发市场 \*
- 浦东万年青经贸发展公司 \*
- 铁龙贸易有限责任公司 \*
- 上海国铁国际贸易有限公司 \*
- 南林联营木制品经销部 \*
- 无锡金龙商业物资联营公司 \*
- 泉州客货运输服务公司 \*
- 绍兴鉴湖酒厂 \*
- 太仓铁路物资公司 \*
- 美佳水洗石磨厂 \*

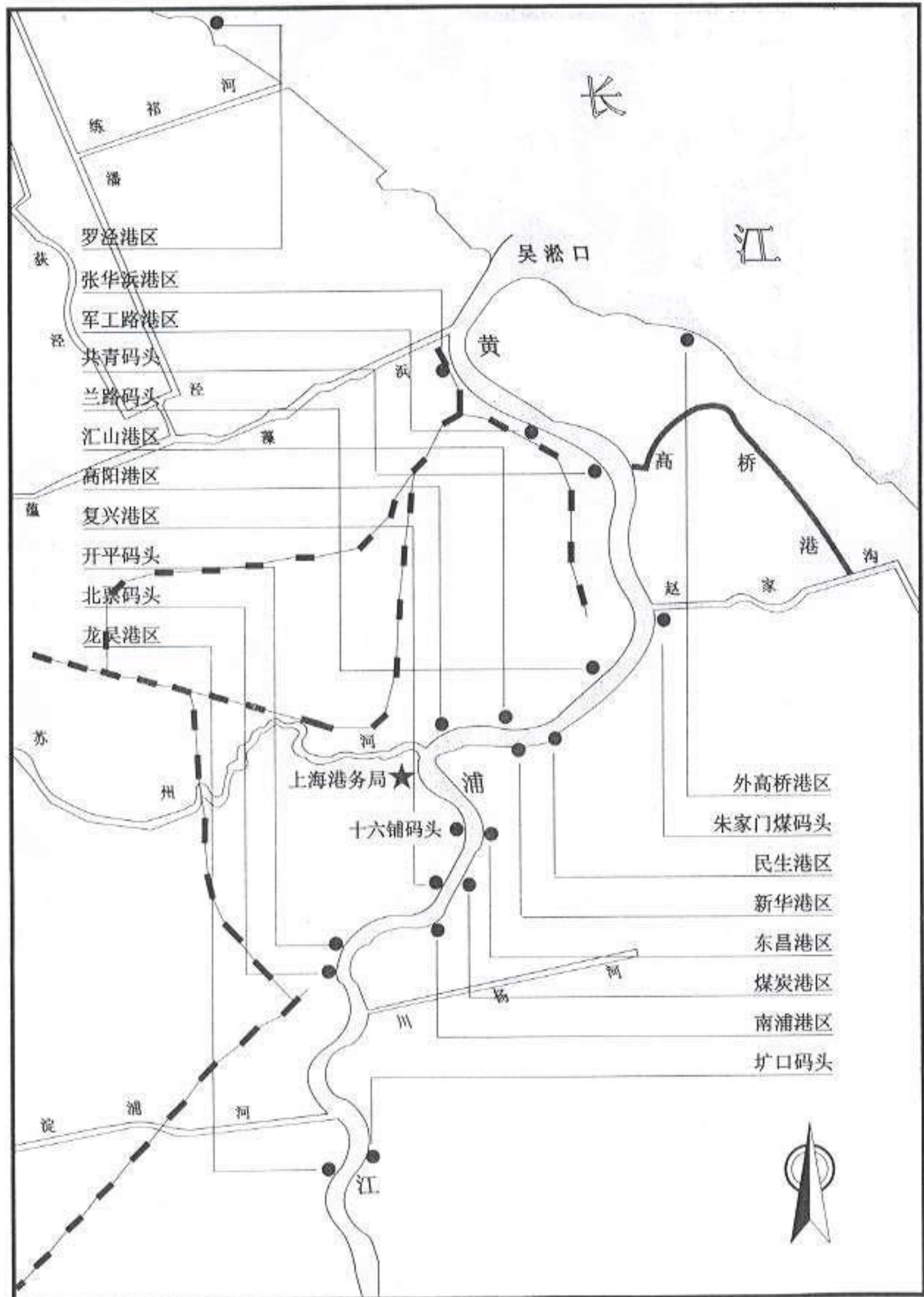
- 蚌埠铁路分局经济开发总公司
- 南京铁路经济开发总公司
- 上海铁路分局经济开发总公司
- 杭州铁路分局经营总公司
- 江西铁路经济开发总公司
- 福建铁路经济开发总公司
- 江西铁路工程实业总公司
- 上海工业总公司经济开发公司

- 置业建设发展总公司
- 新业工贸总公司
- 上海铁路局科学技术研究所
- 上海铁路局科技信息所
- 上海铁路局勘测设计院
- 南昌勘测设计院
- 福州勘测设计院

\* 联营单位

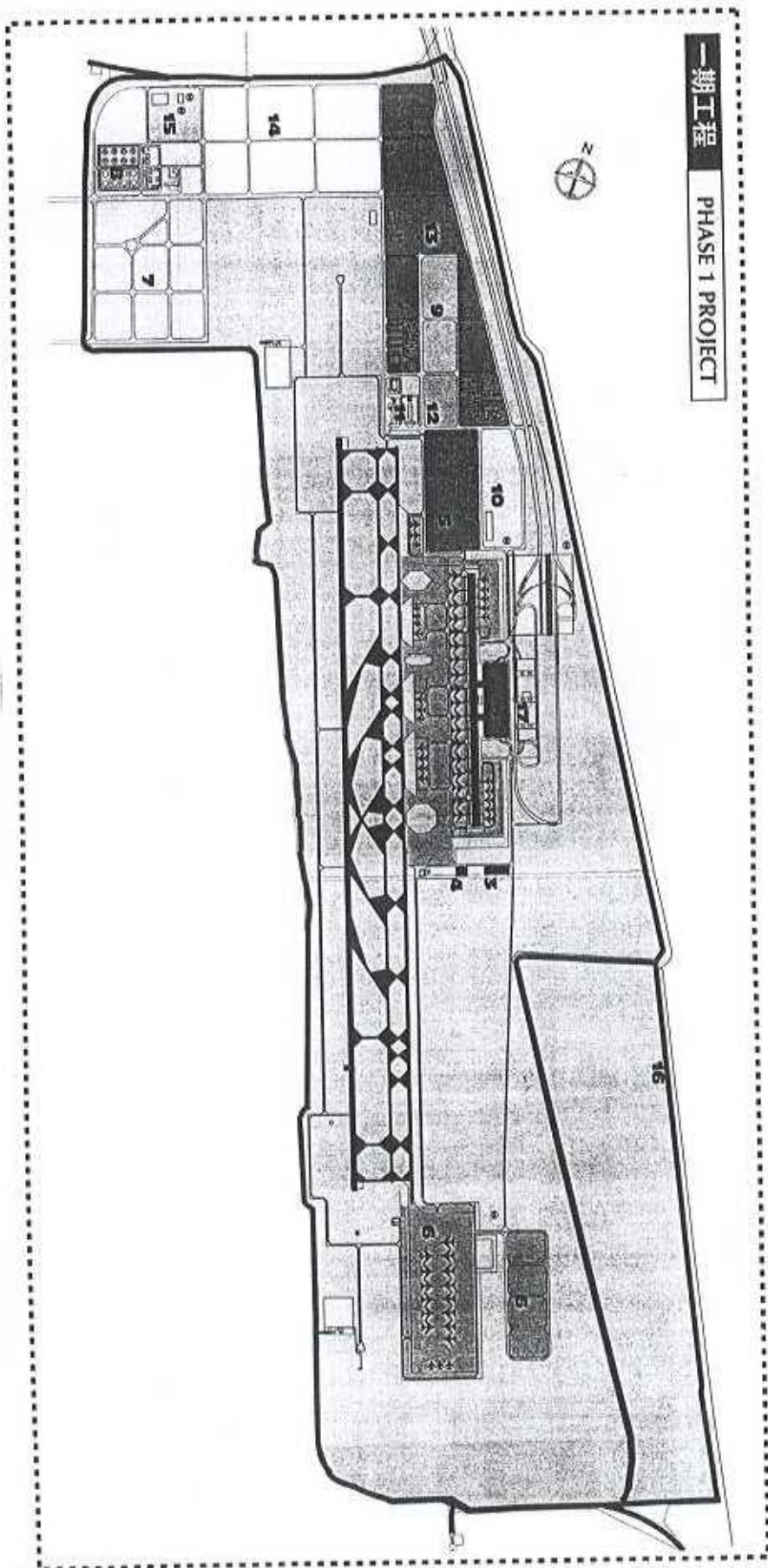


上海港港区位置示意图  
A SKETCH MAP OF THE PORT OF SHANGHAI





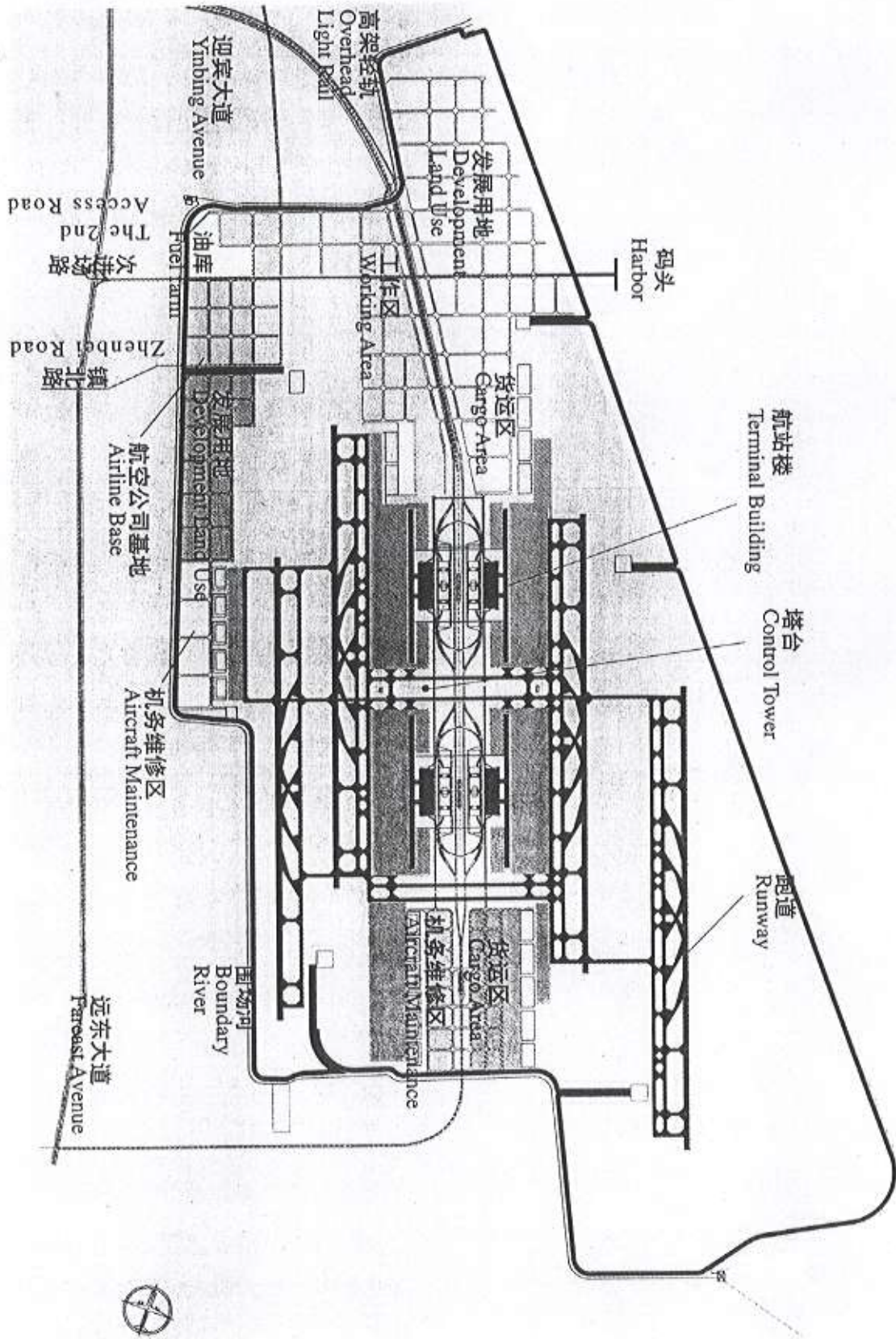
# 浦东国际机场 (一期工程)



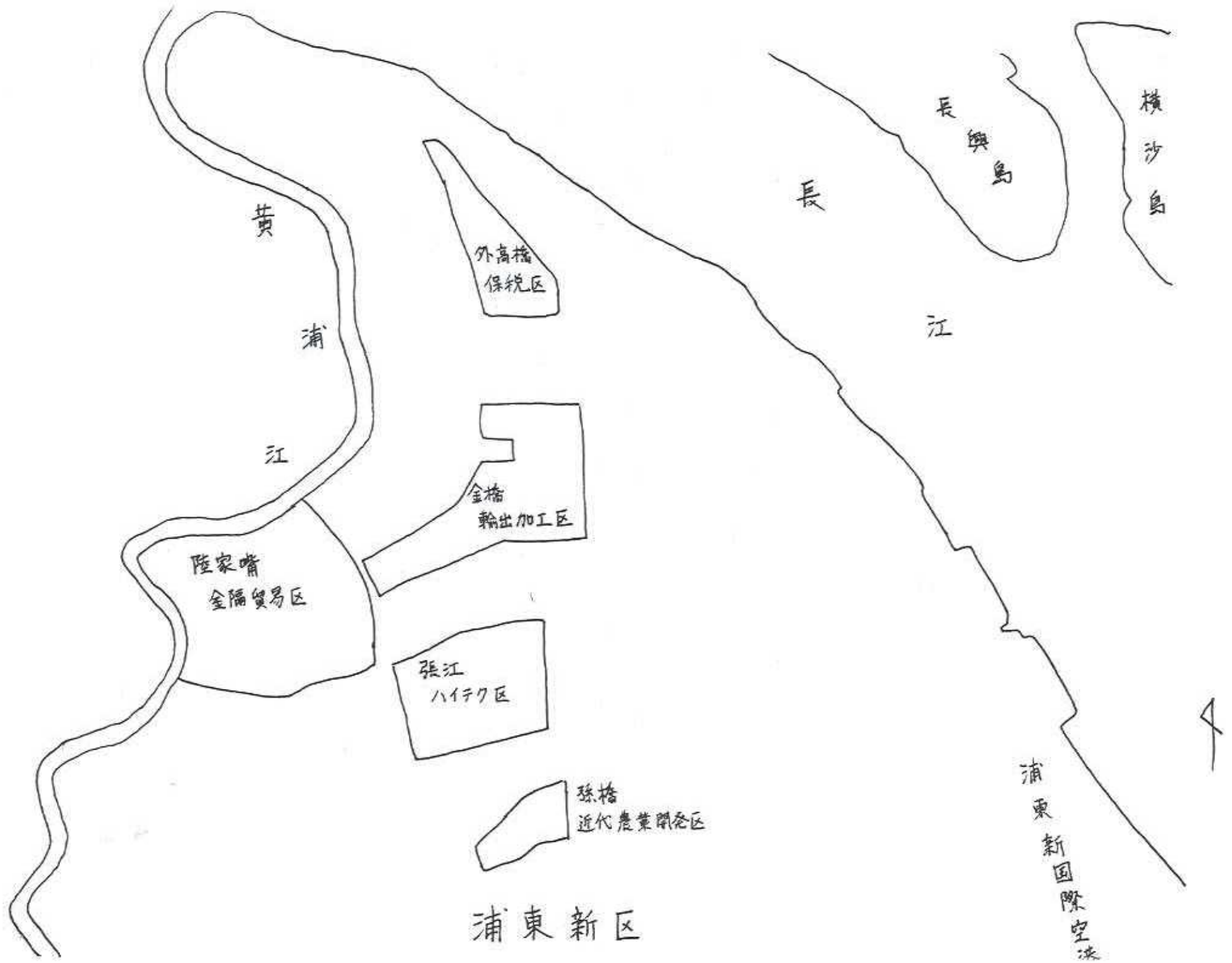
一期工程 PHASE 1 PROJECT

- |                                  |  |   |
|----------------------------------|--|---|
| 1 跑道<br>Runway                   | 7 航空公司基地<br>Airline Base                     | 13 办公区<br>Administration Area             |
| 2 航站楼<br>Terminal Building       | 8 油库<br>Fuel Farm                            | 14 仓储区<br>Warehouse Area                  |
| 3 航管塔台<br>Control Tower          | 9 食品配餐区<br>Catering Area                     | 15 污水处理<br>Sewage & Wastes Disposal Plant |
| 4 站坪调度中心<br>Apron Control Center | 10 商务区<br>Commercial Area                    | 16 排场河<br>Bounary River                   |
| 5 货运区<br>Cargo Area              | 11 消防救援中心<br>Fire Protection & Rescue Center | 17 停车场<br>Car Parking                     |
| 6 机务维修区<br>Aircraft Maintenance  | 12 能源中心<br>Energy Center                     |   |

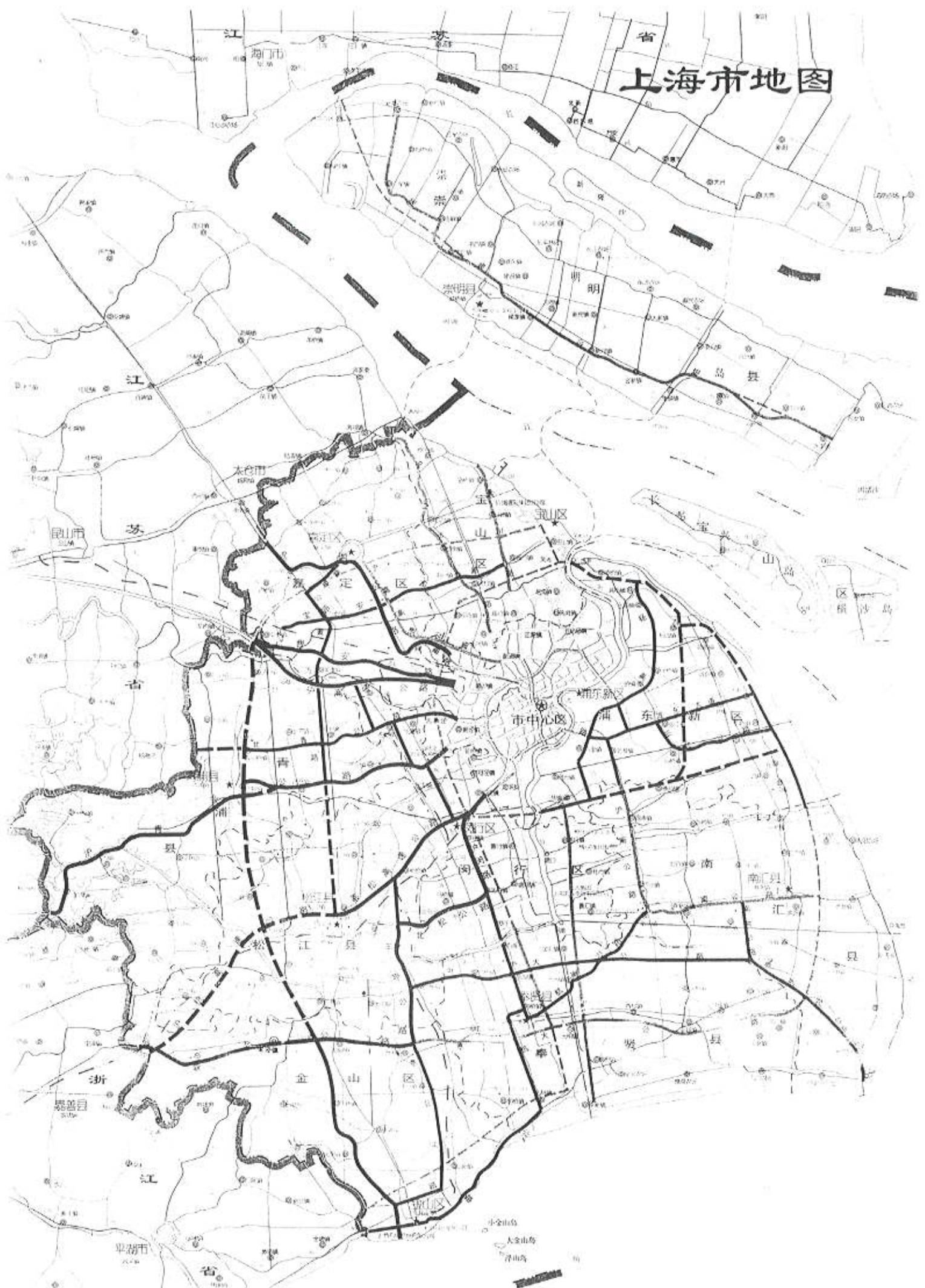
# 浦东国际机场 (マスタープラン)



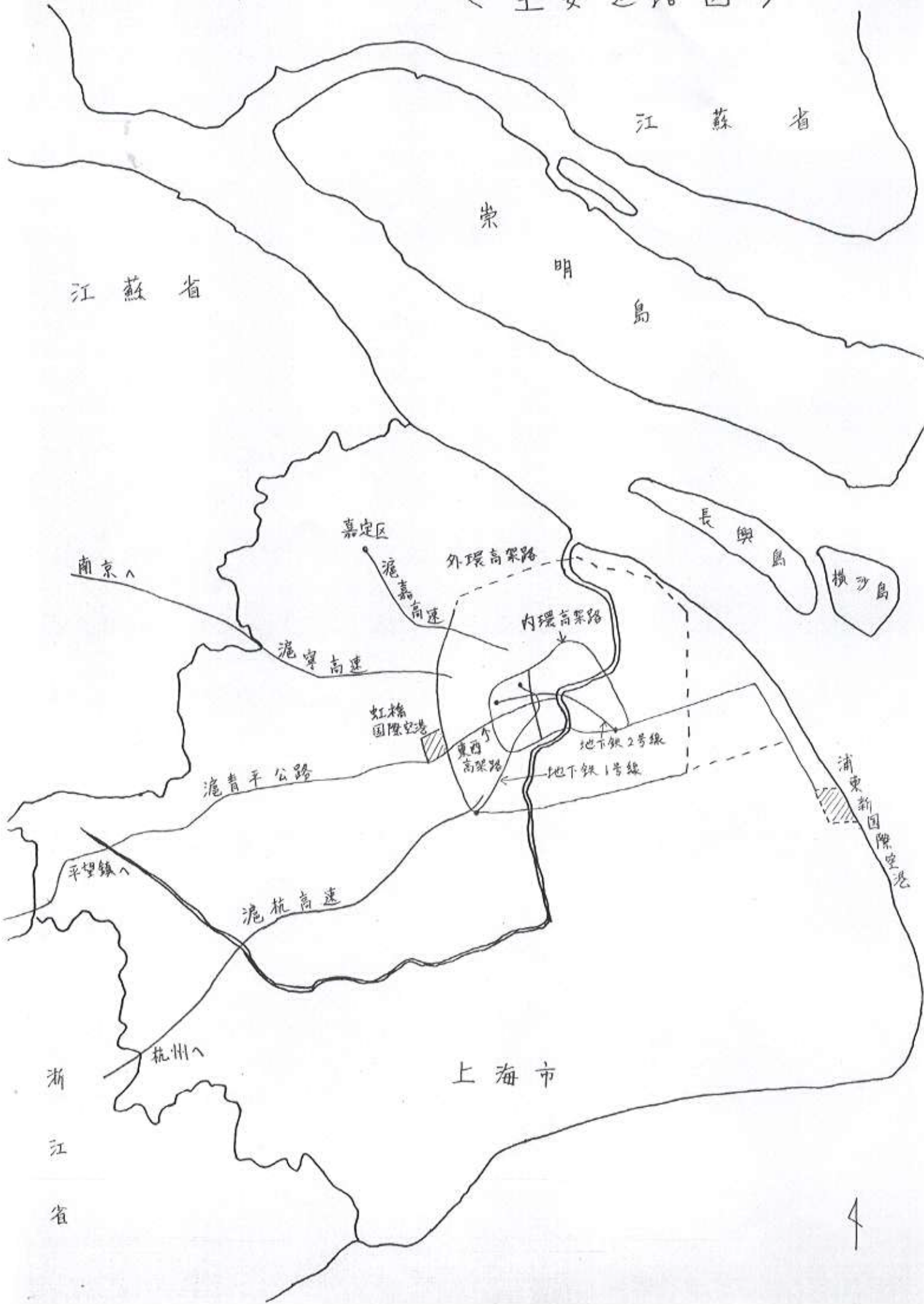




# 上海市地图

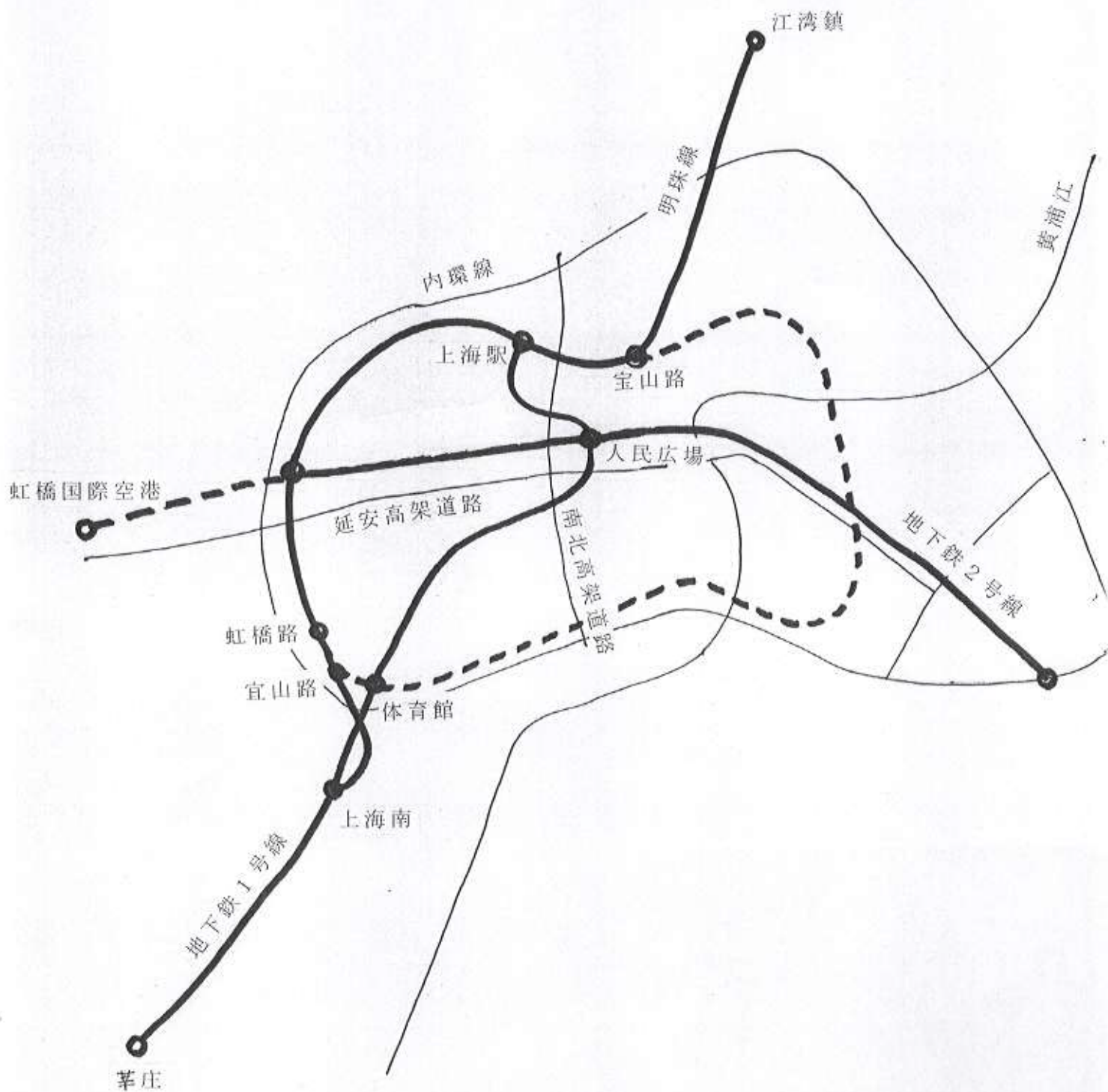


< 主要道路图 >

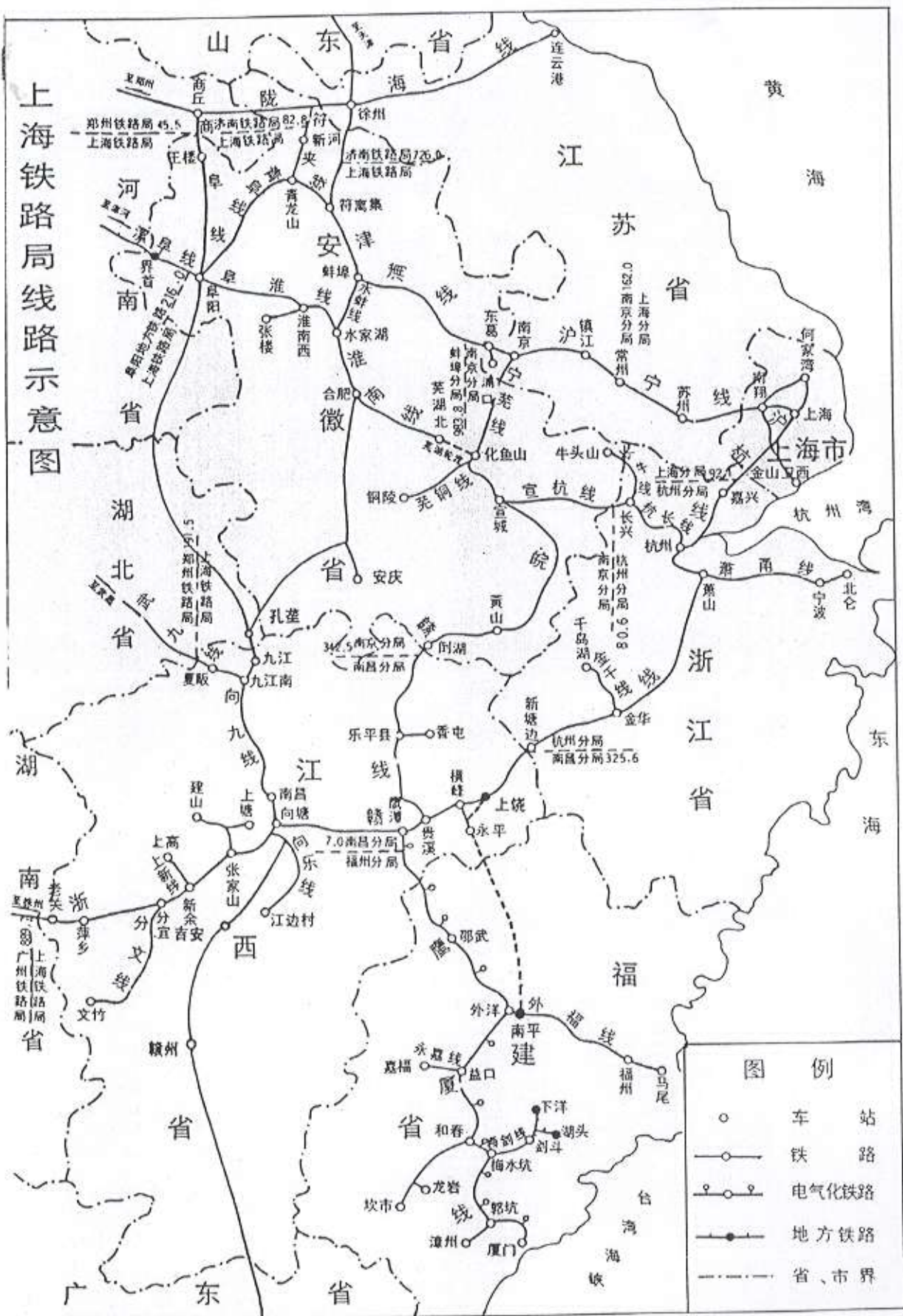




# <上海市街地地下鉄等路線図>

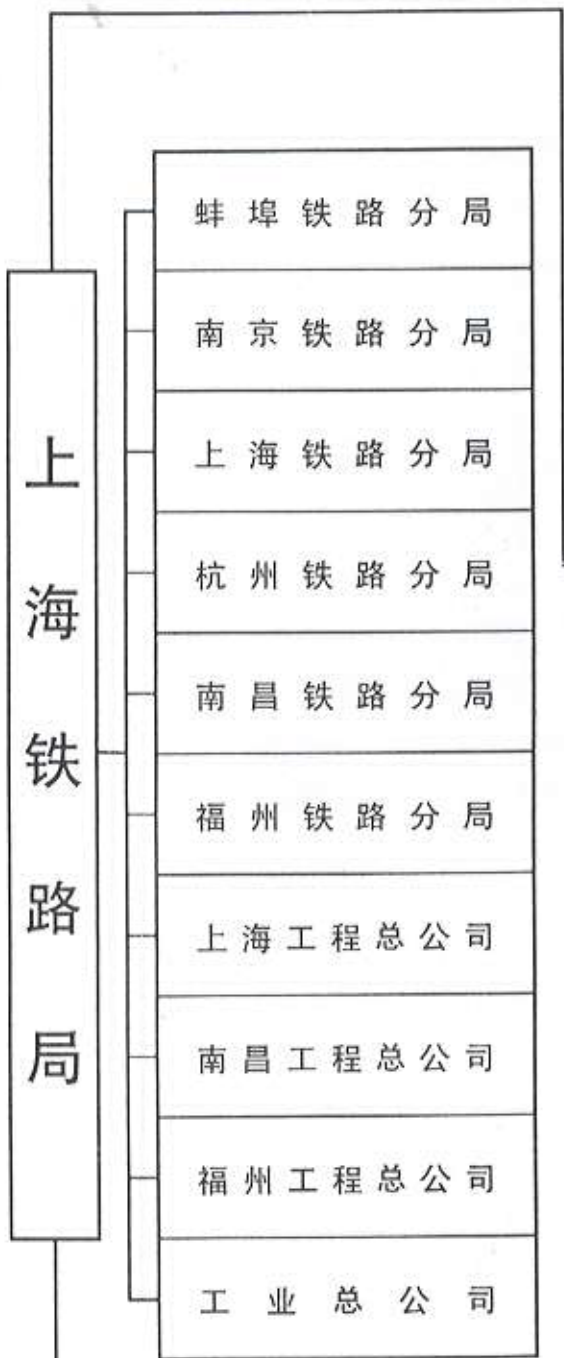


(注) 点線は計画又は建設中



上海铁路局パンフレットより





经济开发总公司

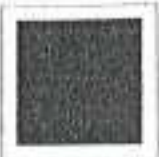
- 上海铁路国际旅行社
- 上海铁路美术广告公司
- 上海铁路局特快件运输公司
- 上海铁路局浦东经济开发公司
- 运输服务分公司
- 物资建筑材料分公司
- 商贸分公司
- 联富贸易商行
- 中铁对外服务公司上海分公司
- 中土公司上海分公司
- 上海雷威实业发展总公司
- 华东地方铁路开发总公司
- 铁路烟草批发市场 \*
- 浦东万年青经贸发展公司 \*
- 铁龙贸易有限责任公司 \*
- 上海国铁国际贸易有限公司 \*
- 南林联营木制品经销部 \*
- 无锡金龙商业物资联营公司 \*
- 泉州客货运输服务公司 \*
- 绍兴鉴湖酒厂 \*
- 太仓铁路物资公司 \*
- 美佳水洗石磨厂 \*

- 蚌埠铁路分局经济开发总公司
- 南京铁路经济开发总公司
- 上海铁路分局经济开发总公司
- 杭州铁路分局经营总公司
- 江西铁路经济开发总公司
- 福建铁路经济开发总公司
- 江西铁路工程实业总公司
- 上海工业总公司经济开发公司

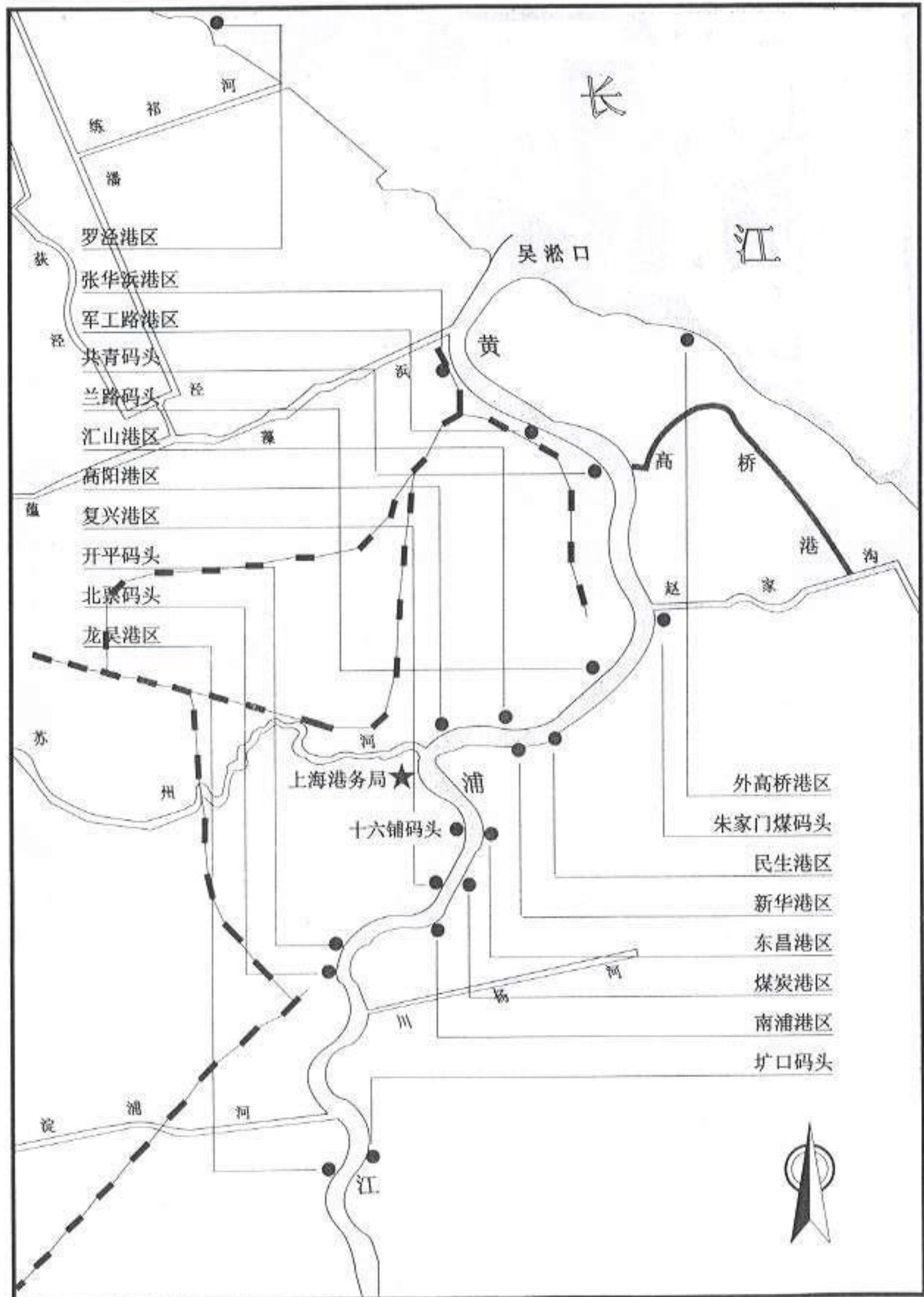
- 置业建设发展总公司
- 新业工贸总公司
- 上海铁路局科学技术研究所
- 上海铁路局科技信息所
- 上海铁路局勘测设计院
- 南昌勘测设计院
- 福州勘测设计院

\* 联营单位



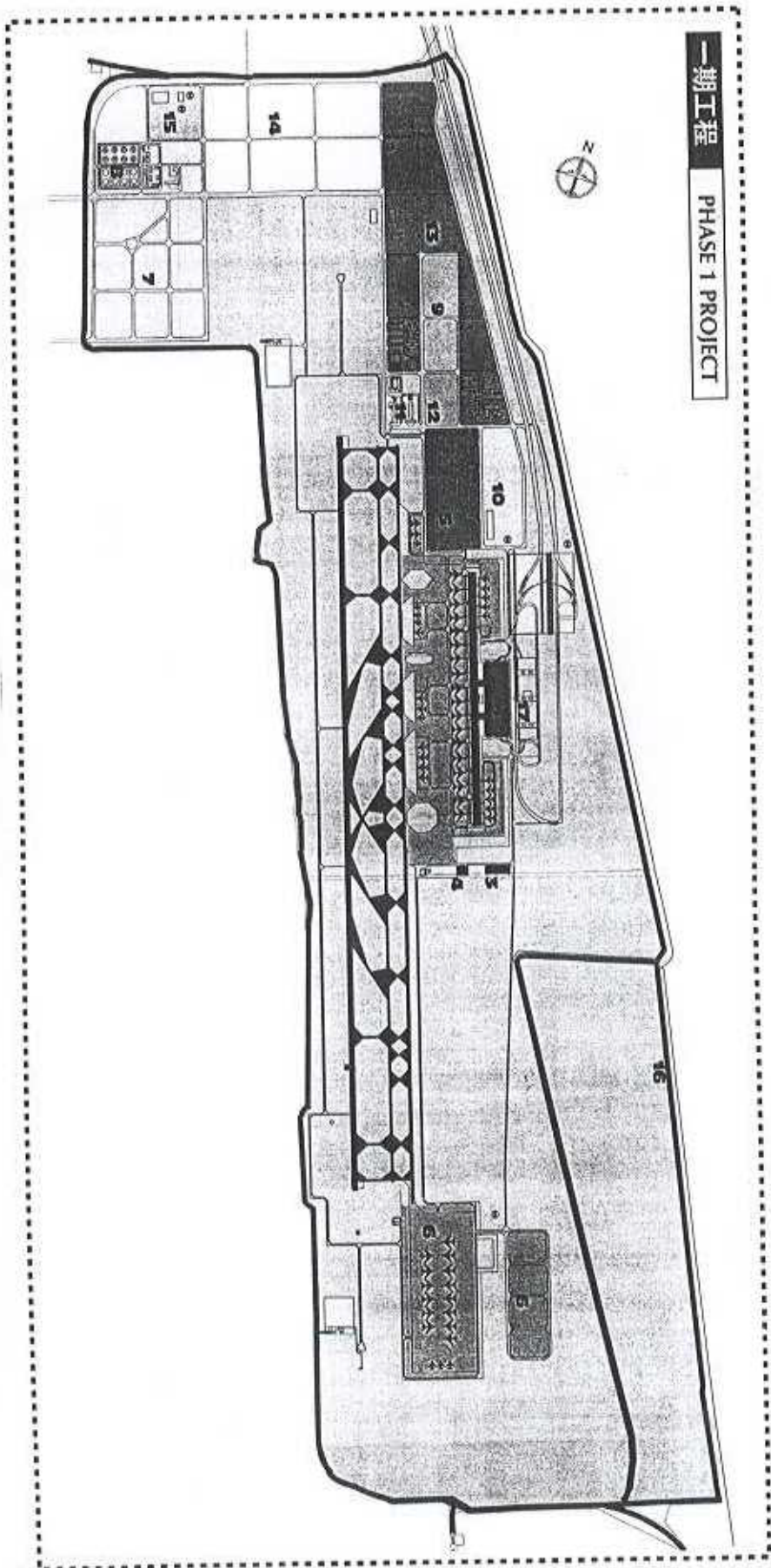


上海港港区位置示意图  
A SKETCH MAP OF THE PORT OF SHANGHAI



# 浦东国际机场 (一期工程)

一期工程 PHASE 1 PROJECT



- 1 跑道  
Runway
- 2 航站楼  
Terminal Building
- 3 航空管制台  
Control Tower
- 4 站坪调度中心  
Apron Control Center
- 5 货运区  
Cargo Area
- 6 机务维修区  
Aircraft Maintenance

- 7 航空公司基地  
Airline Base
- 8 油库  
Fuel Farm
- 9 食品配餐区  
Catering Area
- 10 商务区  
Commercial Area
- 11 消防救援中心  
Fire Protection & Rescue Center
- 12 能源中心  
Energy Center

- 13 办公区  
Administration Area
- 14 仓储区  
Warehouse Area
- 15 污水处理  
Sewage & Wastes Disposal Plant
- 16 排场河  
Bounary River
- 17 停车场  
Car Parking



# 浦东国际机场 (マスタープラン)

